brother

印刷ログ機能設定ガイド

Version 0

JPN

本書の表記

本文中では、マークについて以下のように表記しています。

補足	本製品の操作手順に関する補足情報を説明しています。

商標について

本書に記載されているその他の会社名、および製品名は、各社の商標または登録商標です。

編集ならびに出版における通告

本書ならびに本製品の仕様は予告なく変更されることがあります。
ブラザー工業株式会社は、本書に掲載された仕様ならびに資料を予告なしに変更する権利を有します。また提示されている資料に依拠したため生じた損害（間接的損害を含む）に対しては、出版物に含まれる誤植その他の誤りを含め、一切の責任を負いません。

印刷ログ機能設定

概要

ブラザー製品の印刷履歴を、CIFS接続※1を経由して、ネットワークサーバ上に保存できます。各印刷ジョブのID、種類、ジョブの名前、ユーザ名、日付、時間、印刷されたページ、カラーページ※2の数を記録することができます。標準ウェブブラウザから、機能設定をすることができます。

※1 CIFSとは、Common Internet File System（共通インターネットファイルシステム）プロトコルの略で、TCP/IPを利用し、ネットワーク上のコンピュータからイントラネットもしくはインターネット経由でファイルを共有することができます。

※2 対象機種のみ

以下の印刷機能が印刷ログに記録されます。

● お使いのコンピュータからの印刷ジョブ

● USBダイレクトプリント（対象機種のみ）

● コピー

● 受信したファクス（対象機種のみ）

補足

- 印刷レポート＆リストは、サーバに記録されません。
- 印刷ログ機能設定は、［Kerberos］認証および［NTLMv2］認証をサポートしています。
- ファイルをサーバへ保存するときに、［TXT］または［CSV］のファイルタイプを選ぶことができます。

標準ウェブブラウザを使用して印刷ログ機能を設定する

標準ウェブブラウザにhttp://xxx.xxx.xxx.xxx（xxx.xxx.xxx.xxxはお使いの機器のIPアドレス）を入力し、［管理者設定］－［印刷ログ機能設定］で、機能の設定もしくは変更をすることができます。

管理者設定
パスワードの設定 Web表示
FTP/ネットワークファイル スキャンプロファイル FTP/ネットワークファイル スキャン設定 印刷ログ機能設定 セキュリティ機能ロック

印刷ログ機能設定
印刷ログ ○オフ ⊙オン ①
サーバ アドレス ②
転送先フォルダ ③
ファイル名 BRNxxxxxxxxxxx ④
ファイルタイプ ⊙TXT ○CSV ⑤

認証設定
認証方法 ⊙自動 ○Kerberos ○NTLMv2 ⑥
ユーザ名 ⑦
ドメイン名を指定するには、ユーザ名欄に下記形式で入力してください。
ユーザ名@ドメイン名
ドメイン名\ユーザ名
パスワード ⑧
パスワードの確認
Kerberosサーバアドレス ⑨

書き込みエラー時設定
エラー時の処理 ⊙ログを書き込まずに印刷 ○印刷中止

接続状態 ⑩
最新書き込み結果 エラー:ファイルへアクセスできませんでした

取消 OK



以下の設定をする

① 印刷ログ

印刷ログの［オン］を選択します。

② サーバアドレス

サーバアドレスは、CIFSサーバのドメイン名です。ホストアドレス（例：example.com）もしくはIPアドレス（例：192.168.56.189）を64文字以内で入力します。

③ 転送先フォルダ

印刷ログを保存するCIFSサーバ上の転送先フォルダを60文字以内で入力します。（例：brother/abc）

④ ファイル名

印刷ログとして使用するためのファイル名を15文字以内で入力します。

⑤ ファイルタイプ

印刷ログのファイルタイプ［TXT］もしくは［CSV］を選択します。

⑥ 認証方法

CIFSサーバにアクセスするために必要な認証方式［自動］、［Kerberos］※1または［NTLMv2］※2を選択します。

※1 Kerberosは、シングルサインオンという機能を使用して、ネットワークサーバに機器もしくは個人のIDを正しく証明することができる認証プロトコルです。
※2 NTLMv2は、ネットワークにログオンするために、Windows®で使用されているデフォルトの認証方式です。

KerberosおよびNTLMv2認証においては、SNTPプロトコル（ネットワークタイムサーバ）も設定しなければなりません。SNTPプロトコルの設定については、7ページを参照してください。

- **自動**
  ［自動］を選択すると、本製品はまずKerberosサーバを検索します。Kerberosサーバが検出されないとNTLMv2が認証方式として使用されます。
- **Kerberos**
  ［Kerberos］を選択した場合、Kerberos認証のみ使用できます。
- **NTLMv2**
  ［NTLMv2］を選択した場合、NTLMv2認証のみ使用できます。

⑦ ユーザ名

認証のためのユーザ名を96文字以内で入力します。

補足

ユーザ名がドメインの一部の場合、以下のスタイルの１つでユーザ名を入力してください。
user@domainまたはdomain\user

⑧ パスワード

認証のためのパスワードを32文字以内で入力します。

⑨ Kerberos サーバアドレス（必要な場合）

KDCサーバアドレス（例：example.com）またはIPアドレス（例：192.168.56.189）を64文字以内で入力します。

⑩ 接続状態

最新のログの書き込み状態を確認できます。詳細については、「エラーメッセージについて」（5 ページ）を参照してください。



［OK］をクリックする

設定が適用されます。

書き込みエラー時の設定

ネットワークエラーにより印刷ログがサーバに記録できない場合に行う処理を選ぶことができます。



［印刷ログ機能設定］の［書き込みエラー時設定］で［ログを書き込まずに印刷］または［印刷中止］を選択する

● ログを書き込まずに印刷

［ログを書き込まずに印刷］を選択した場合、本製品は印刷ログをサーバに保存せずに文書を印刷します。

印刷ログ機能設定が修復されると、印刷ログは以下のように保存されます。

（1）印刷の終了時に印刷ログが記録できない場合、印刷ページおよびカラーページ数を除いた印刷ログが記録されます。

（2）印刷の開始時と終了時に印刷ログが記録できない場合、ジョブの印刷ログは記録されません。機能が修復されたときに、エラーがあったことをログに記録します。

印刷ログ例

```
Id, Type, Job Name, User Name, Date, Time, Print Pages, Color Pages
1,Print (Network), "Doc01.doc","user01", 25/01/2009, 14:21:32, 10,10
2,Print (Network), "Doc02.doc","user01", 25/01/2009, 14:45:30, ?, ?      ①
3,Print(USB), "Report01.xls", "Mike", 25/01/2009, 15:20:30, 13, 10
4,<ERROR>, ?, ?, ?, ?, ?, ?                                             ②
5,Print (Network), "Doc03.doc","user01", 25/01/2009, 16:12:50, 40, 10
```

● 印刷中止

［印刷中止］を選択した場合、印刷ログがサーバに保存できないときは印刷ジョブはキャンセルされます。

補足

本製品が受信したファクスは、［印刷中止］を選択していても自動で印刷されます。



［OK］をクリックする

設定が適用されます。

エラーメッセージについて

本製品のエラー状態をディスプレイ、または標準ウェブブラウザの［接続状態］から確認することができます。

● サーバが見つかりません。
サーバに接続できない場合、このメッセージが表示されます。
以下の項目を確認してください。

- サーバアドレスは正しいですか？
- サーバがネットワークに接続されていますか？
- 本製品がネットワークに接続されていますか？

● ユーザ認証に失敗しました。
［認証設定］が正しくない場合、このメッセージが表示されます。
以下の項目を確認してください。

- 認証設定のユーザ名※1およびパスワードは正しいですか?
  ※1ユーザ名がドメインの一部の場合、以下のスタイルの 1 つでユーザ名を入力してください。
  user@domain または domain\user
- Kerberos または NTLMv2 にて認証に使用されている時間と合うように、SNTP タイムサーバプロトコルが正しく設定されていますか？

● ファイルへアクセスできません。
転送先フォルダにアクセスできない場合、このメッセージが表示されます。
以下の項目を確認してください。

- ディレクトリ名は正しいですか？
- ディレクトリは書き込み可能ですか？
- ファイルはロックされていませんか？

補足

［印刷中止］をウェブブラウザで設定している場合、ディスプレイ上に［ログの書き込みができません］というメッセージと、上記メッセージが表示されます。

セキュリティ機能ロックを設定して印刷ログ機能を使用する

セキュリティ機能ロックの設定が［オン］の場合、登録されているユーザ名/PCプリント/コピー/受信したファクス（対象機種のみ）/USBダイレクトプリント（対象機種のみ）のそれぞれの機能が印刷ログとして記録されます。

管理者設定

パスワードの設定 | Web表示 | FTP/ネットワークファイル スキャンプロファイル | FTP/ネットワークファイル スキャン設定 | 印刷ログ機能設定 | セキュリティ機能ロック

セキュリティ機能ロック

セキュリティ機能ロック　○オフ　◉オン　［カウンタ自動リセット設定］

管理者パスワード　［ログイン名によるPCプリント制限］

パスワードの確認

制限ID番号/ID名		パスワード	印刷					その他			ページカウンタ［カウンタリセット］		
			PCプリント	コピー	プリントオプション カラープリント	枚数制限 オン	枚数制限 Max.	ファクス送信	ファクス受信	スキャン	合計	モノクロ	カラー
	一般モード		☑	☑	☑	☐		☑	☑	☑	0	0	0
1	ユーザー1	1234	☑	☑	☑	☐		☑	☑	☑	0	0	0
2	ブラザー太郎	1111	☑	☑	☑	☐		☑	☑	☑	0	0	0
3			☑	☑	☑	☐		☑	☑	☑	0	0	0
4			☑	☑	☑	☐		☑	☑	☑	0	0	0
5			☑	☑	☑	☐		☑	☑	☑	0	0	0
6			☑	☑	☑	☐		☑	☑	☑	0	0	0
7			☑	☑	☑	☐		☑	☑	☑	0	0	0
8			☑	☑	☑	☐		☑	☑	☑	0	0	0
9			☑	☑	☑	☐		☑	☑	☑	0	0	0

セキュリティ機能ロックを使用しているユーザの印刷ログ例

```
Id, Type, Job Name, User Name, date, Time, Print Pages, Color Pages
1, Copy, -, -, 29/4/2009, 9:36:06, 1,1
2, Fax, -, -, 29/4/2009, 22:38:30, 1,0
3, Copy, -, ブラザー太郎, 30/4/2009, 9:06:17, 1,0
4, Fax, -,ブラザー太郎, 30/4/2009, 9:02:13, 2,0
5, Print(Network), Document1, ユーザー1  30/4/2009, 10:58:52, 1,1
```

標準ウェブブラウザを使用してSNTPプロトコルを設定する

SNTPとは、ネットワーク上のコンピュータがSNTPサーバと通信して正確な時刻を同期させるためのプロトコルです。（この時刻は、本製品で手動設定したディスプレイに表示される時刻ではありません。）標準ウェブブラウザを使用して、設定をすることができます。
標準ウェブブラウザにhttp://xxx.xxx.xxx.xxx（xxx.xxx.xxx.xxxはお使いのコンピュータのIPアドレス）と入力し、［ネットワーク設定］－［プロトコル設定］でSNTPの設定をすることができます。



1 ［SNTP］のチェックボックスを選択し、設定を有効にする

2 ［詳細設定］をクリックする

①状態

SNTPサーバ設定が有効か無効かを表示します。

②SNTP サーバ設定の方法

［AUTO］もしくは［STATIC］を選択します。

- AUTO
  ネットワーク上にDHCPサーバがある場合、SNTPサーバはDHCPサーバから自動でアドレスを取得します。
- STATIC
  使用したいアドレスを入力します。

③、⑤SNTP サーバアドレス（プライマリ）、（セカンダリ）

サーバアドレスを64文字以内で入力します。

④、⑥SNTP サーバポート（プライマリ）、（セカンダリ）

ポート番号を入力します。（1から65535）

⑦同期間隔

サーバと同期したい時間の間隔を入力します。（1から168時間）

⑧同期状態

最新の同期状態を確認できます。

3 ［OK］をクリックする

設定が適用されます。